



元亀の里
一瀬須美江様



元亀の里
内海タツ様



風和の里
辻岳久枝様



元亀の里
宮永フミ様



元亀の里
山添輝昭様



元亀の里
池上シヅ様



元亀の里
濱口照代様



元亀の里
葉山キヌエ様



通所リハビリ
池田進様



通所介護
山口智子様



寿限無
田中洋子様



寿限無
石井泉様



丘の家
西田美智代様



グループホーム
馬場昭吉様



通所介護
高垣キチヨ様



元亀の里
塩平満夫様



バースデーインタビュー



グループホーム
山口美恵子様

お誕生日を迎えられた感想を伺うと、「よくもここまで生きてきたなど。仕事で「石の砂」をようけ吸い込んだから、肺がだめになると思っていた。」と話されました。日本一の「石割のまち」といわれる熊本県天草の合津村で生まれ育ち、学校を卒業してすぐに石割の修行へ。19歳で一人前となり、24歳で結婚、3人の子どもに恵まれました。40年間、石とともに歩んでこられたそうです。結婚する前は、一人旅が大好きで、あちこちを飛び回っていたとのこと。「今、行きたいところがありますか？」と尋ねると、「北海道にまた行きたい」と即答されました。その理由を伺うと、「若いころ、親に何も言わず旅をしていたら、心配した親が搜索願を出してね。ちょうどこれから北海道を満喫しようという時に警察に見つかって、結局、北海道を回れなかったんですよ。」と、にこにこしながら当時を振り返ってお話くださいました。若いころからギターやバイオリンを弾くのが好きで、芸術家であり、冒険家であり、自由人でもある塩平さん。結婚後も「自分の力がどこまで通用するか試したい」という思いから、各地の石屋を訪ね歩かれたそうです。「ご家族に伝えたいことはありますか？」と尋ねると、「何事にも諦めず、一生懸命に取り組んでほしい」と力強い言葉をいただきました。塩平さんご自身が、まさにその言葉のとおり的人生を歩んでこられたからこそ、心に響く言葉なのだと感じました。これからも塩平さんらしく、元気で長生きしてください。お誕生日おめでとうございます。



通所介護



寿限無三階



グループホーム



寿限無二階



通所リハビリ

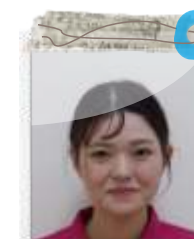


G H 山口タミ様



お楽しみメニュー

- ・鶏ごぼうの炊き込みご飯
- ・刺身
- ・柿の白和え
- ・ワインゼリー
- ・すまし汁
- ・マロンパフェ



酒井麻子

今月の職員紹介

2025年9月より
寿限無で介護
職員として働
いています。
先輩方の丁寧

で優しいご指導と入居者様から、「ありがとう」の言葉で充実した日々を送らせていただいています。入居者様に寄り添い、生活を支えていけるように頑張っていきたいと思っています。これからよろしくお願いします。



10月上旬、風和の里とグループホームでは、それぞれ十五夜にちなんだ行事を行いました。風和の里では、月に見立てたピンポン玉をひもで引っ張る「月取りゲーム」や、ピンポン玉を紙コップに入れて回すゲームなど、各ユニットで楽しいレクリエーションを実施。夕食後には外に出てお月見会を行い、「きれかねー」と月を見上げて手を合わせる方や、飛行機雲を見て「流星かな？」と目を輝かせる方など、秋の夜長をゆったりと楽しませていました。グループホームでは「十五夜の会」を開催し、皆でお団子作りをしました。団子を丸めながら「今夜のお月様が楽しみね」「この団子、ちょっと小さいかな？ 私の口は大きいけん、もう少し大きく丸めようか」と笑い声が上がり、手を止めることなく作業が進みました。夜には天気にも恵まれ、まん丸のお月様を眺めながら、皆さんの笑顔あふれる心温まる十五夜のひとときとなりました。



10月23日、「かめだけピクニック」が今年も開催されました。会場となった元亀の家では、「中山地区もちよりどころ」として、リメイクサロン絹をはじめ、お菓子や新米の販売などが行われ、多くの人で賑わいました。



10月21日、シニアヴィレッジせいひで、消防隊員立会いのもと、日中想定消防総合訓練を実施しました。万が一火災が発生した場合にも、慌てることなく初動対応ができるよう、消防機関との連携体制を確認しました。また、避難誘導時の迅速な行動やリスク管理、避難ルートの周知徹底など、利用者様の安全確保に向けた訓練を行いました。今後も、万全の防災体制を整えるため、継続して訓練に取り組んでまいります。



10月17日、長与北部地区コミュニティ運営協議会の皆様が風和の里に来苑され、施設の見学および介護保険についてのお話をさせていただきました。それぞれが熱心に耳を傾けられ、施設利用時の費用や病院受診の取扱いなどについて、積極的にご質問をいただきました。

随 ずっくらばし

せいひ会の職員が思うがままをリレー式に綴るコーナー。
今月は、風和の里の田口由佳さんです。

私の休日は「タニパト」から始まります。「タニパト」とは「多肉パトロール」のこと。家中の「多肉」たちの様子をチェックするのが、私の一番の楽しみです。多肉植物との出会いは、もう7～8年前になります。友人と参加した多肉の寄せ植え教室でどハマりしてしまい、今では家の周りには多肉ちゃんだらけ。地植えでどんどん増やしたり、寄せ植えを作って楽しんだりしています。植木鉢にもこだわりがあり、自分で「リメ鉢」を作るほどになりました。「リメ鉢」とは、素焼き鉢にペイントしたり、空き缶をリメイクして好きな絵や文字を描いたりするものです。私は絵を描くのが得意ではないので、英文字を入れ

て楽しんでいます。家の軒下には大きな棚を作り、たくさんの寄せ植えを並べています。お店屋さんようで、ワクワクしながら毎日眺めています。最近では、土にもこだわり始めました。「鹿沼細粒」や「赤玉細粒」などを混ぜて、小さなポットで子株を育てています。ポットで育った子たちを地植えして、さらに大きくなったら寄せ植えに使う—それが、今いちばんの楽しみです。多肉ちゃんを通じてたくさんの人とつながって、いつかはマルシェに出店してみたいなと思っています。



せいひ会だより

2025年(令和7年)
11月1日発行
＜第317号＞
社会福祉法人せいひ会
<http://www.seihikai.jp/>



がんばれ！ 運動会

秋晴れの中、元亀の里では恒例の「運動会」を開催しました。当日は、職員が全力で競技に挑む姿を利用者様に応援していただき、開催前から「頑張ってよ！応援しとるけんね！」と温かい声援をいただきました。競技中も笑顔と拍手があふれ、たくさんの元気をいただきました。また、「ソーラン節」では利用者様にも一緒にご参加いただき、会場が一体となって盛り上がりました。終了後には「たくさん笑わせてもらったよ」「観とるこっちも楽しかった」とうれしいお言葉をいただき、職員一同感激でした。競技中は、豪華な景品をかけて笑いあり・真剣勝負ありの白熱した展開に！さらに、入社して間もない職員も、この運動会を通して互いの絆を深める良い機会にもなりました。笑顔と元気があふれる楽しい一日となり、利用者様にも職員にも思い出深い運動会になりました。

10月の行事

6日	お月見	(風和の里)
6日	運動会	(元亀の里)
16日	十五夜の会	(GH)
8,14日	お誕生会	(通所介護)

11月の行事予定

3日	芋ほり	(GH)
10～15日	作品展示会	(通所介護)



朝晩と日中の気温差が大きいので、
服装は重ね着がおすすめ。